



# 触媒学会理事会からの報告

2019年3月20日（水） 15：25～15：45

1. 会長方針
2. 2019年度会長信任投票結果
3. 2019年度理事会体制
4. 第3回企業研究者と学生の交流会実施報告
5. 国際交流活動報告
6. 触媒学会創立60周年事業実施報告



# 1. 会長方針

- ・ 若手育成

討論会Bの活性化 → 応募数の増加

北大触媒研・情報発信型シンポの協賛、若手の招待  
村山徹氏（首都大）、田村正純氏（東北大）

- ・ 国際交流

TOCAT8の成功 → ICCの誘致

- ・ 産官学連携

討論会春の特別シンポ、企業研究者と学生の交流会

学会創立60周年 式典・祝賀会・触媒誌記念号

# 研究会のあり方を議論



## 部会・研究会

以下の部会・研究会のお知らせのページにリンクしています。

2018年7月9日更新

部会または研究会	委員長または世話人代表者	年鑑2018報告
<a href="#">参照触媒部会</a>	薩摩 篤 (名古屋大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">公開討論部会</a>	堂免一成 (東京大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">ファインケミカルズ合成触媒研究会</a>	水垣共雄 (大阪大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">有機金属研究会</a>	平野雅文 (東京農工大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">コンピュータの利用研究会</a>	馬場好孝 (東京ガス)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">生体関連触媒研究会</a>	天尾 豊 (大阪市立大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">界面分子変換研究会</a>	奥村光隆 (大阪大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">重合触媒設計研究会</a>	塩野 毅 (広島大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">高難度選択酸化反応研究会</a>	山中一郎 (東京工業大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">水素の製造と利用のための触媒技術研究会</a>	古澤 毅 (宇都宮大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">天然ガス転換触媒研究会</a>	関根 泰 (早稲田大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">規則性多孔体研究会</a>	窪田好浩 (横浜国大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">ナノ構造触媒研究会</a>	竹中 壮 (同志社大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">燃料電池関連触媒研究会</a>	大門英夫 (同志社大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">光触媒研究会</a>	古南 博 (近畿大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">環境触媒研究会</a>	羽田政明 (名工大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">工業触媒研究会</a>	松下康一 (JXTGエネルギー)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">バイオマス変換触媒研究会</a>	佐藤智司 (千葉大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">固体酸触媒の原理と応用研究会</a>	松橋博美 (北海道教育大)	<a href="#">報告書</a>
<a href="#">元素戦略研究会</a>	田中庸裕 (京大)	<a href="#">報告書</a>

裾野分野の開拓  
中核分野の深掘り

時限的に設置  
討論会秋のセッション開催

(個人の意見)

- ・ 若手主導の研究会設置・再編を
- ・ 科研費新学術領域の提案

研究会代表者の会議 (2018.9)

- ・ 他研究会の状況
- ・ websiteの改訂



## 2. 2019年度会長信任投票結果

### 1) 信任投票制：選任手順

- 役員候補者選考委員会が会長候補を推薦，理事会同意
- ⇒候補者が経歴、方針等をWEB上で開示
- ⇒学会員による信任投票
- ⇒理事会にて最終決定

### 2) 2019年度会長信任投票の実施方法

- ・役員候補者選考委員会および理事会において，2019年度会長候補者として山下弘巳氏（大阪大学）を選出.
- ・同氏の「経歴と会長としての抱負」をWEBサイトに公示し信任投票を実施.



## 2. 2019年度会長信任投票結果

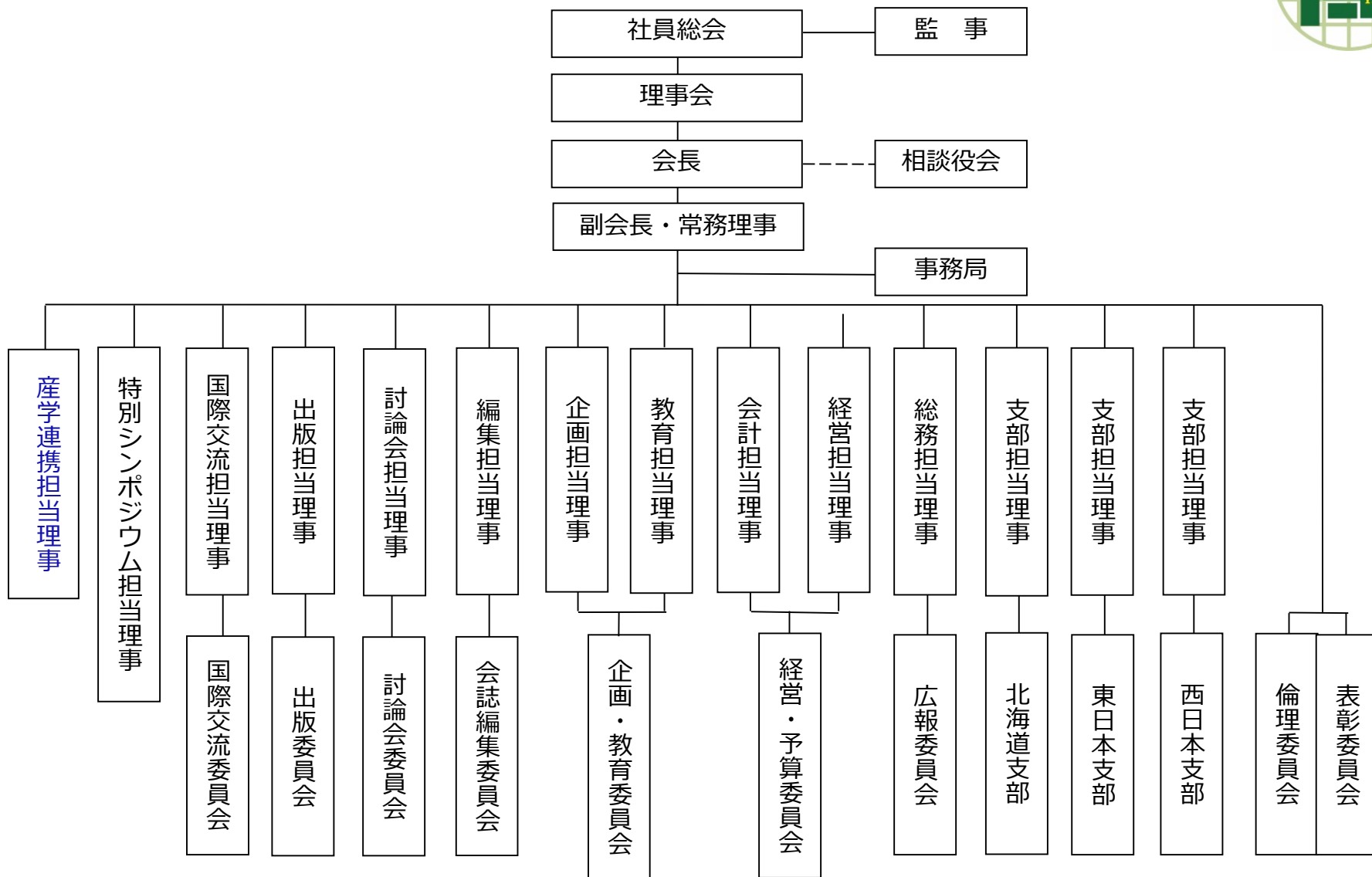
### 3) 2019年度会長信任投票結果

- ・投票は原則WEB投票（希望により郵便での投票も可）
- ・投票期間：2019年2月1日(金) から2月28日(木)
- ・有資格者：正会員：2083名
- ・投票結果：有効投票率：20.1%、信任率：98.8%

有効投票数の3分の2以上の信任が得られたので、山下弘巳氏（大阪大学）を2019年度触媒学会会長最終候補者として信任。

なお、同氏は5月開催予定の定時社員総会にて理事に選任後、引き続き開催される理事会にて2019年度会長に選任予定。

# 3. 2019年度理事会体制



広報委員會 : websiteの英語化を準備中

## 4. 第3回企業研究者と学生の交流会実施報告



企業研究者と学生の交流会とは・・・

『就活を控えた学生が、企業の一線で働く研究者と実際に交流することで、就職サイトや合同企業説明会では得られない生の情報を得て、自身のキャリアプランや学生時代の過ごし方、あるいは就活や社会に出る心構えを考えるきっかけとなる場にしていただくために企画したもの』

- ・ 学会から会員へのサービスの一環
- ・ 地方学生（非会員学生も参加可）に企業と接する機会を提供

内容：・ 第122回触媒討論会（北海道教育大学函館校）会期中の  
2018年9月27日(木)16：00-18：00に開催した。

### ・ プログラム

第1部 企業各社からの講演

(エヌ・イー ケムキャット, 菅製作所, トヨタ自動車,  
三菱ケミカル)

第2部 各社に分かれて学生との個別対応



- 昨年に比べ、第一部の参加者は減（72→53名）
- 第二部の参加者は昨年同等（22→23名）
- 第一部は昨年に比べるとややおとなしい印象だったが、第二部は昨年同様に活発な交流があった







## 5. 国際交流活動報告

### (1) 触媒学会主催行事 実施報告

#### 1) TOCAT8 (8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology)

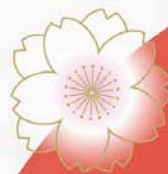
期間： 2018年8月5日(日)～10日(金)

会場： パシフィコ横浜

組織委員長： 堂免一成 (東大院工)

Secretary： 村松淳司 (東北大多元研)

参加者： 1085名 (36ヶ国)

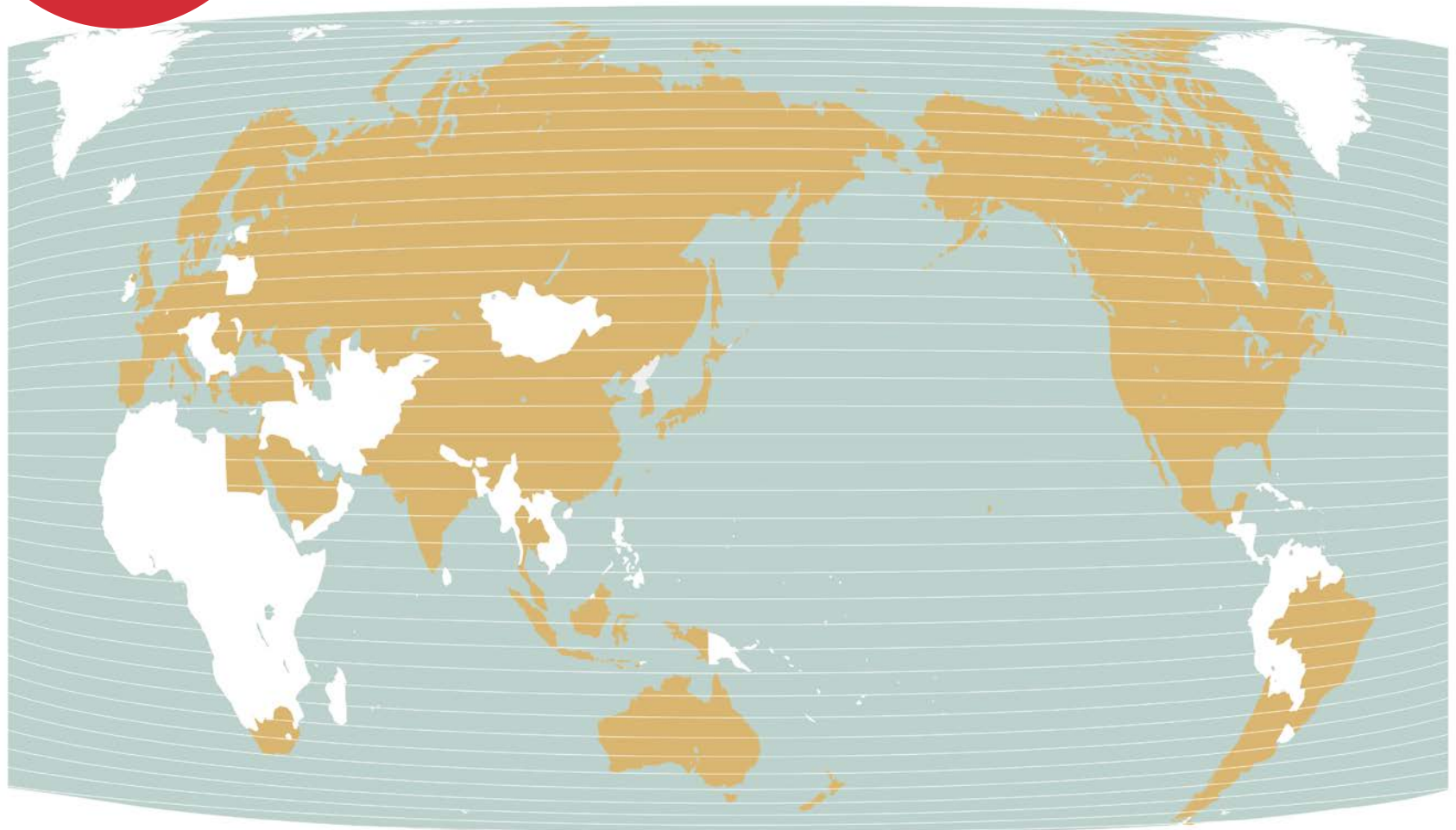


# TOCAT

Tokyo Conference  
on Advanced Catalytic Science  
and Technology

**TOCAT**

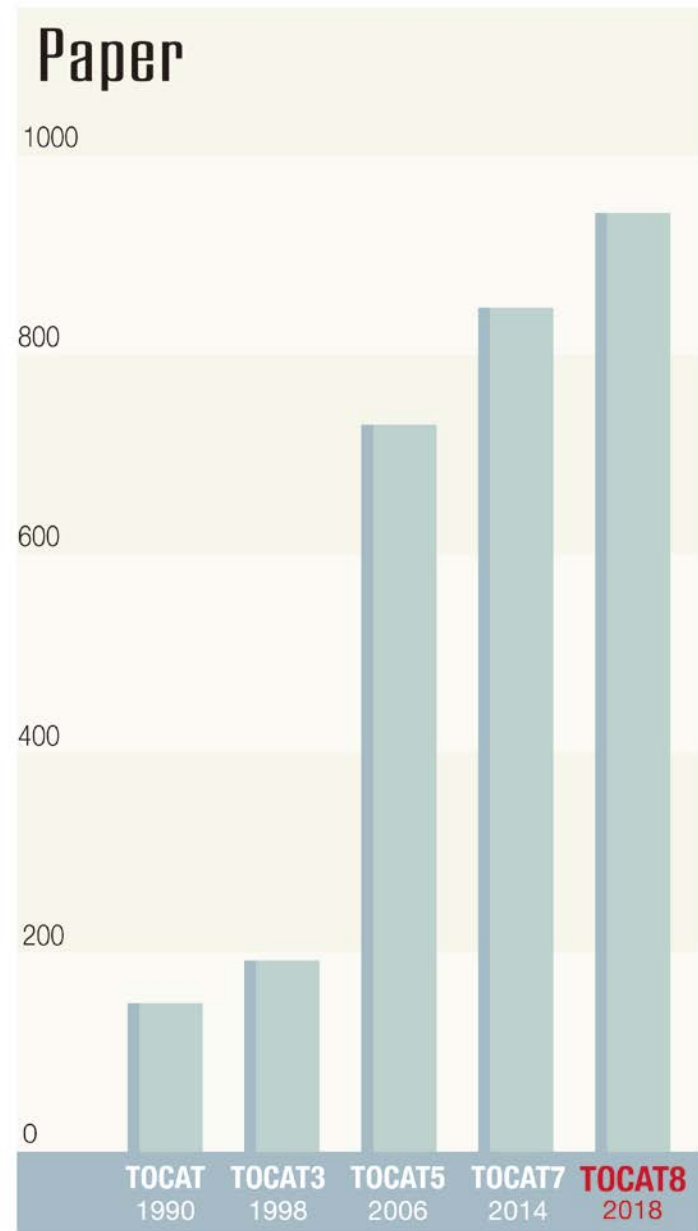
**Participants from more than 40 countries  
(~1,100 including ~350 students)  
at TOCAT8**



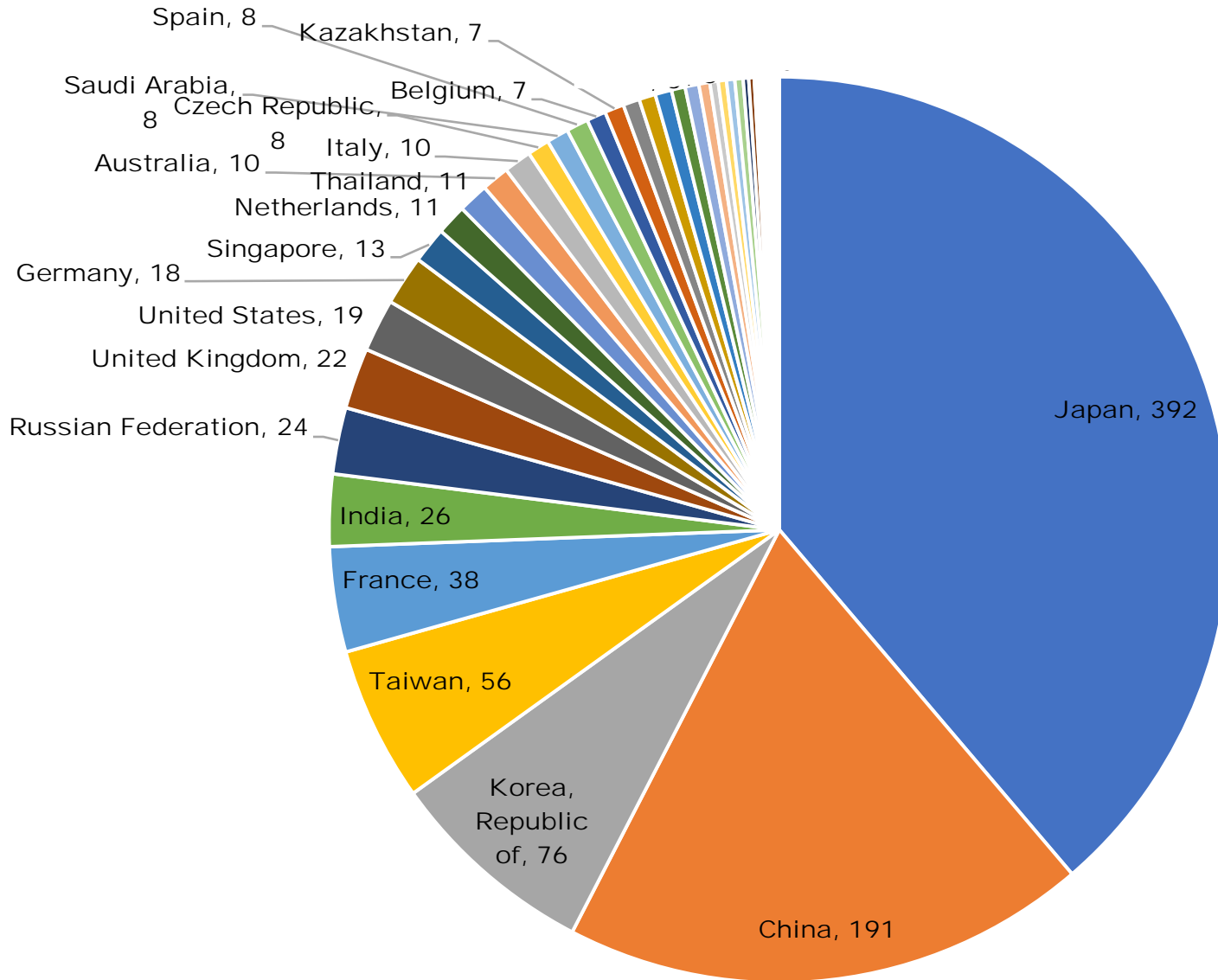


**TOCAT continues growing**

**~250 oral presentation  
~700 poster presentation  
at TOCAT8**



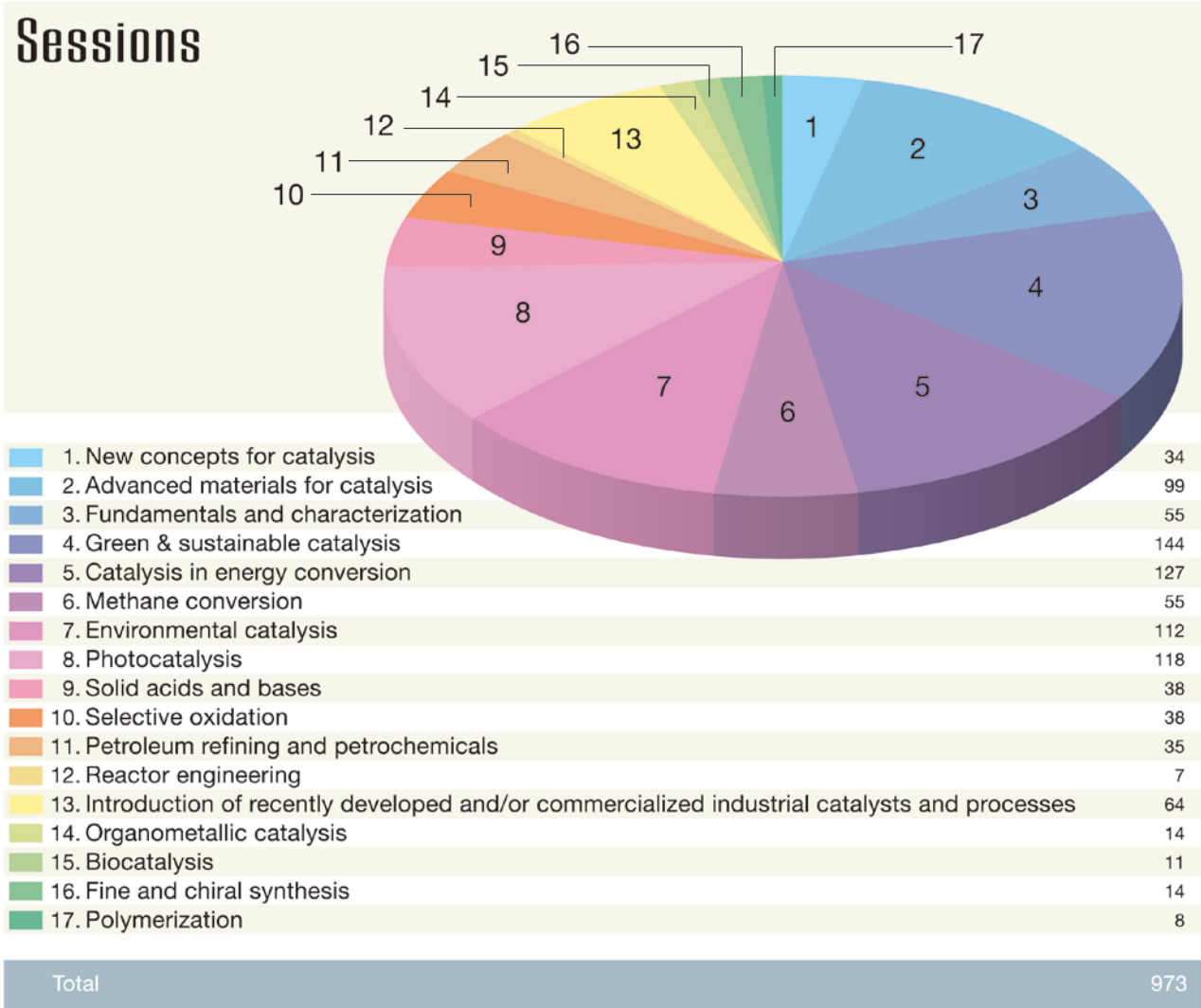
# Trend of countries and regions in the presentations



Plenary	9
Keynote	37
Invited	46
ORAL	222
Poster	693
Total	1007







# Number of presentations in sessions



**Industrial session is special for TOCAT**



**Gold Sponsors**

 <p>JXTG Nippon Oil &amp; Energy Corporation</p>
 <p>JGC Catalysts and Chemicals Ltd.</p>
 <p>MicrotracBEL Corp.</p>
 <p>China Catalyst Holding Co.,Ltd.</p>

**Silver Sponsors**

 <p>ExxonMobil Research &amp; Engineering Company</p>	 <p>JEOL Ltd.</p>	 <p>Asahi Kasei Corp.</p>
---	--	--

**Bronze Sponsors**

 <p>SHOWA DENKO K.K.</p>	 <p>HIRO COMPANY</p>	 <p>Chiyoda Corporation</p>
 <p>Zeolyst International</p>	 <p>Clariant</p>	 <p>Cataler Corporation</p>
 <p>Mitsui Chemicals, Inc.</p>	 <p>N.E. CHEMCAT Corporation</p>	 <p>SACHEM, Inc.</p>
 <p>KOEI CHEMICAL COMPANY, LIMITED</p>	 <p>JGC Corporation</p>	 <p>Mitsubishi Chemical Corporation</p>
 <p>Johnson Matthey</p>	<p>Regular Sponsor</p>  <p>Avantium</p>	

**Sponsorship by Luncheon seminar**

 <p>Royal Society of Chemistry Japan KK</p>	 <p>Process Systems Enterprise Limited</p>	 <p>MicrotracBEL Corp.</p>
---	---	---

**Exhibitors**

 <p>Daiichi Kigenso Kagaku Kogyo Co., Ltd.</p>	 <p>SK MEDICAL ELECTRONICS CO., LTD</p>	 <p>S.T.JAPAN INC.</p>
 <p>NIPPON SHOKUBAI CO.,LTD.</p>	 <p>Anton Paar</p>	 <p>Shimadzu Corporation</p>
 <p>Frontier Laboratories Ltd.</p>	 <p>HIRO COMPANY</p>	 <p>Institute for Catalysis, Hokkaido University</p>
 <p>Dassault Systemes K.K.</p>	 <p>TOSOH CORPORATION</p>	 <p>JGC Catalysts and Chemicals Ltd.</p>
 <p>Sasol Performance Chemicals GmbH</p>	 <p>Tatva Chintan Pharma Chem Pvt Ltd.</p>	 <p>MDPI-AG</p>
 <p>Spectris Co., Ltd.</p>	 <p>MicrotracBEL Corp.</p>	 <p>N.E. CHEMCAT Corporation</p>
 <p>China Catalyst Holding Co.,Ltd.</p>	 <p>NIKKI-UNIVERSAL CO., LTD.</p>	 <p>Avantium</p>
 <p>Tokyo Institute of Technology</p>	 <p>Johnson Matthey</p>	 <p>Process Systems Enterprise Limited</p>
 <p>Consortium for Research on Electron Traps in Materials, Institute for Catalysis, Hokkaido University</p>	 <p>AICE</p>	 <p>ADVANCE RIKO, Inc.</p>

**Special support by City of Yokohama**



## 5. 国際交流活動報告



### (2) 触媒学会共催行事 実施報告

#### 1) TOCAT8-Pre (Pre-conference of the 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology–Material Design for Efficient Catalysis and Sustainable Chemistry–)

期間：2018年8月3日(金)～4日(土)

会場：北海道大学創成科学研究棟

組織委員長：朝倉 清高（北大触媒研）

参加者：134名

#### 2) ファインケミカルズ合成触媒国際会議2018

International Symposium on Catalysis and Fine Chemicals 2018

期間: December 10-14, 2018

場所: Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand

組織委員長: Prof. Pramoch Rangsunvigit

参加者350名（日本人約100名）





## 5. 国際交流活動報告

### (3) その他

#### 1) **APCAT-8 (The 8th Asia Pacific Congress on Catalysis)**

期間: August 4-7, 2019

場所: Bangkok, Thailand

組織委員長: Prof. Piyasan Praserthdam

HP: <http://www.apcat8.com/>

#### 2) **The 17th Korea-Japan Symposium on Catalysis**

期間: May 20-22, 2019

会場: MAISONGLAD Jeju HOTEL (Jeju, Korea)

組織委員長: Prof. Hae Kyoung Park (Hanseο University)

HP: <https://www.kjsc2019.com/>

#### 3) **ICC2024誘致の準備について**

京都国際会館 仮予約 (日程: 2024年6月23日(日)~28日(金))

ICC2020でのプレゼン用資料の作成



## 6. 触媒学会創立60周年記念事業実施報告

- 1) 記念式典・記念祝賀会
- 2) 「触媒」60周年記念特集号刊行、英文パンフレット配布
- 3) 若手研究者育成基金の財源補充
- 4) 創立60周年記念品の作成
- 5) 第121回触媒討論会での記念企画実施
- 6) 団体会員への「わが国の工業触媒の歴史」の謹呈
- 7) 「触媒技術の動向と展望2018」60周年記念号刊行

## 1) 記念式典・記念祝賀会

# 触媒学会創立60周年 記念式典

平成30年8月9日（木）15時からパシフィコ横浜（横浜市西区みなとらい）にて触媒学会創立60周年記念式典を開催した。

記念式典は、次頁の式次第に従って行われ、参加者約 300名で盛況あった。



パシフィコ横浜会議センター メインホール（B1F・1F）

# 触媒学会創立60周年 記念式典プログラム

司会：触媒学会副会長 山下弘巳

主催者挨拶（15：00～15：10） 触媒学会会長 福岡 淳

来賓ご挨拶（15：10～15：30）

文部科学省研究開発局環境エネルギー課課長 横地 洋氏

日本化学会 代表理事・常務理事(中部大学 教授) 澤本光男氏

触媒工業協会会長(イノ・イ・ケムキャット代表取締役社長) 岡田 功氏

北海道大学触媒科学研究所所長 長谷川淳也氏

名誉会員証および感謝状授与式（15：30～15：40）

名誉会員証授与：辰巳 敬氏，感謝状授与：大谷文章氏

触媒学会のあゆみ（15：40～16：00） 触媒学会会長 福岡 淳

記念講演（16：10～17：50） 司会 江口浩一氏

1) 「触媒学会の60年を振り返る

－「触媒」誌からキーワードを拾いつつ

東京工業大学名誉教授・触媒学会名誉会員 小野嘉夫氏

2) 「未来一考：触媒科学に期待する」

旭化成(株)・元触媒学会会長 永原 肇氏





# 触媒学会創立60周年 記念祝賀会

平成30年8月9日（木） 18時30分から横浜ベイホテル東急にて記念祝賀会を執りおこなった。

記念祝賀会は、8月5～10日まで開催の「The 8th Tokyo Conference on Advanced Catalytic Science and Technology (TOCAT8)」のバンケットと合同で開催し、約 500 名の参加者を得た。

☆ 主催者挨拶  
TOCAT8組織委員長 堂免一成  
触媒学会会長 福岡 淳



横浜ベイホテル東急 クイーンズグランド・ボールルーム







## 2) 「触媒」60周年記念特集号刊行英文パンフレット配布

- \* 会誌「触媒」60巻第4号は、触媒学会創立60周年記念特集号として企画され、TOCAT8初日の8月5日に発行された。
  - (1) 時評 触媒学会創立60周年に寄せて 福岡 淳
  - (2) 60周年記念座談会：今年還暦を迎える理事・役員経験者が一堂に会して座談会を開催した。出席者：赤間 弘（日産自動車）、田中庸裕（京都大学）、西山 覚（神戸大学）、福岡 淳（北海道大学）、藤田照典（三井化学）、司会：井上朋也（産総研）
  - (3) 学会賞（技術部門）の研究紹介
  - (4) 奨励賞受賞者・公募企画受賞者の研究紹介
  - (5) 触媒学会の歩み
  - (6) 「触媒研究に関する意識アンケート」集計結果報告
  
- \* 海外の方々にTOCATと触媒学会を深く理解していただくことを目的として、TOCATと触媒学会の歴史をまとめた英文パンフレットを1,500部作成し、TOCAT8会場にて配布した。



### 3) 若手研究者育成基金の財源補充

50周年記念事業特別会計から資金を分離して特別会計「若手研究者育成基金」を設置した。

この基金設置の趣旨は次のとおりであり、これまで、主に「若手優秀講演賞副賞」、「若手海外渡航助成」の他、「キャタリシスパーク」などの普及啓発活動の開催に使用され、多数の若手研究者の育成および社会貢献に活用されてきた。

- (1) 35 歳以下の研究者を対象とする教育訓練
- (2) 35 歳以下の研究者の研究発表等研究活動の助成
- (3) 35 歳以下の研究者を対象とする顕彰
- (4) その他理事会で承認された若手育成事業

この事業を60周年記念事業としてさらに10年間継続するため、新規事業特別会計から財源を補充した。



## 4) 創立60周年記念品の作成

「創立 60 周年記念 一般社団法人触媒学会」を名入れしたシャープペンシルを作成し、記念式典、TOCAT8参加者に贈呈した。

## 5) 第121回触媒討論会での記念企画実施

2018年春の第121回触媒討論会で、統計データを中心にアップデートしたパネルを展示し、この10年を振り返った。

## 6) 団体会員への「わが国の工業触媒の歴史」の謹呈

シニア懇談会有志からなる日本の工業触媒の歴史編纂実行委員会から平成30年2月に刊行にされた「わが国の工業触媒の歴史（総説と記録-20世紀からの伝言-）」を団体会員115社に記念として謹呈した。

## 7) 「触媒技術の動向と展望2018」60周年記念号刊行

触媒年鑑「触媒技術の動向と展望2018」60周年記念号の独自企画として、第一編の研究動向に下記の2つの寄稿を掲載した。

1. 触媒学会の60年－「触媒」・「触媒討論会」から振り返る－  
東京工業大学名誉教授、触媒学会元会長 小野嘉夫
2. 触媒－これまで、そしてこれから  
三井化学（株）、触媒学会副会長 藤田照典